

平成28年度

一般財団法人 リモート・センシング技術センター
環境報告書

2017年 9月

一般財団法人 リモート・センシング技術センター

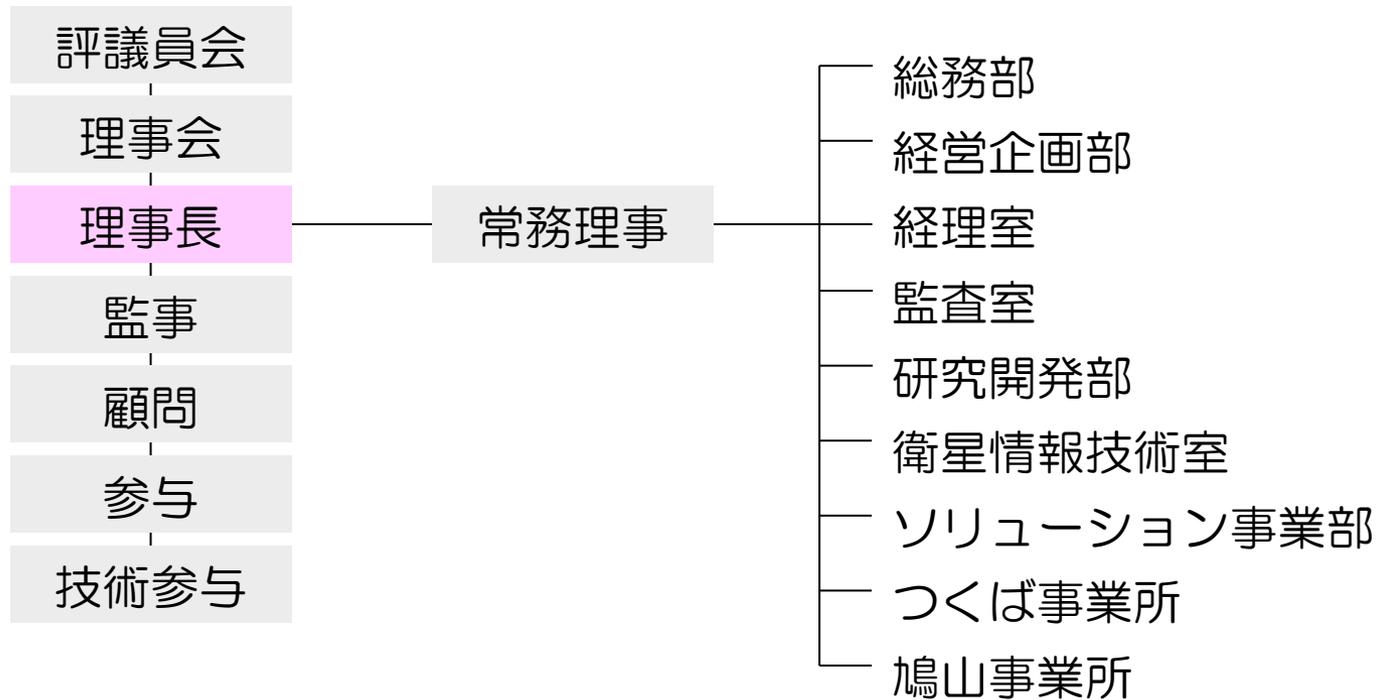


1.財団概要

財団名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
つくば事業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1 つくば三井ビル18階
鳩山事業所	〒350-0393 埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401 地球観測センター内
設立	1975年8月1日
基本財産	250,000千円
理事長	池田 要
職員数	151名（常勤役員等5名含む）
各種許認可	品質マネジメントシステム（ISO9001）認証取得 情報セキュリティマネジメントシステム（ISO27001）認証取得 環境マネジメントシステム（ISO14001）認証取得
事業概要	財団ホームページ： https://www.restec.or.jp/

1.財団概要

財団組織



2.環境方針

一般財団法人リモート・センシング技術センターは、人工衛星等を利用した地球の資源、現象に関する研究開発や普及啓発を通じて、環境問題の解決、環境負荷の低減などに貢献するとともに、以下に示す基本方針に基づき継続的な環境配慮活動を推進します。

- 1) ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを維持し、かつ、マネジメントレビューと内部監査を定期的を実施し、環境の継続的な改善を図ります。
- 2) 環境に対する影響を評価し、重要な項目に関しては、環境目的・目標を設定し、環境活動を推進します。
- 3) 事業活動、製品及びサービスの全領域において環境負荷を最小限にするために、汚染の予防省資源、省エネルギー、廃棄物削減、環境リスク対策などの環境パフォーマンスを推進します。
- 4) 関連する環境の法規制、RESTECが地域との間で締結している協定等を遵守します。
- 5) 環境改善実行計画への構成員の理解と意識向上を図るため、環境教育の充実に努めます。

この環境方針は、当センターに掲示し構成員及び関係者、並びに当センターを訪れる一般の方に周知すると共に、求めに応じ一般の方へも提供します。

3.環境マネジメントシステム

環境方針の決定をうけ、財団では平成24年度にISO1400:2004に従った環境マネジメントシステム（EMS）を構築し、平成25年1月31日付でその認証を取得しました。

更に3年後の第1回更新審査において、当財団EMSが規格要求に適合し、効果的に機能しているとの評価を得ています。

当財団のISO14001認証内容は、以下の通りです。

- 登録番号 : JUSE-EG-550
- 組織名 : 一般財団法人リモート・センシング技術センター
- 適用規格 : JIS Q 14001:2004 (ISO 14001:2004)
- 初回登録日 : 2013年1月31日
- 有効期間 : 2016年1月31日～2018年9月15日
- 審査登録機関 : 一般財団法人 日本科学技術連盟
- 登録範囲 : 地球観測衛星を中心としたリモートセンシング（遠隔探査）に関する技術及び機器の研究・開発、地球観測情報の受信・処理・解析・蓄積管理及び提供、並びに人材の育成、その他宇宙開発利用に関する普及啓発並びに国際協力

3.環境マネジメントシステム



一般財団法人 日本科学技術連盟
ISO審査登録センター



登録証

登録番号: JUSE-EG-550

組織名: 一般財団法人リモート・センシング技術センター

適用規格: JIS Q 14001:2004 (ISO 14001:2004)

初回登録日: 2013年1月31日

有効期間: 2016年1月31日～2018年9月15日
(但し、この期限内に2015年版に移行した場合は2019年1月30日となる)

貴組織は、日科技連ISO審査登録センター環境マネジメントシステム審査登録制度による厳正なる審査の結果、別紙審査登録適合内容に記載する範囲において、上記規格要求事項に適合していることを証し、登録いたします。

発行日 2013年1月31日

更新日 2016年1月31日

一般財団法人 日本科学技術連盟

理事長

佐々木 真一



ISO審査登録センター
担当理事・上級経営管理者

小野寺 将人



住所: 東京都新宿区西新宿 2-7-1 (〒163-0704)

登録証は「登録証」と「審査登録適合内容」とで構成される。

1/2



一般財団法人 日本科学技術連盟
ISO審査登録センター



審査登録適合内容

登録種別: 環境マネジメントシステム

登録番号: JUSE-EG-550

登録組織: 一般財団法人リモート・センシング技術センター
その他「審査登録適合内容(詳細)」による

代表者: 常務理事 杉山 茂

所在地: 東京都港区虎ノ門3丁目17-1
TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階、3階(本社)
その他「審査登録適合内容(詳細)」による

適用規格: JIS Q 14001:2004 (ISO 14001:2004)

登録範囲: 地球観測衛星を中心としたリモートセンシング(遠隔探査)に関する技術及び機器の研究・開発、地球観測情報の受信・処理・解析・蓄積管理及び提供、並びに人材の養成、その他宇宙開発利用に関する普及啓発並びに国際協力

発行日 2013年1月31日

更新日 2016年1月31日

一般財団法人 日本科学技術連盟

ISO審査登録センター
担当理事・上級経営管理者

小野寺 将人



登録証は「登録証」と「審査登録適合内容」とで構成される。

2/2

3.環境マネジメントシステム

【著しい環境側面】

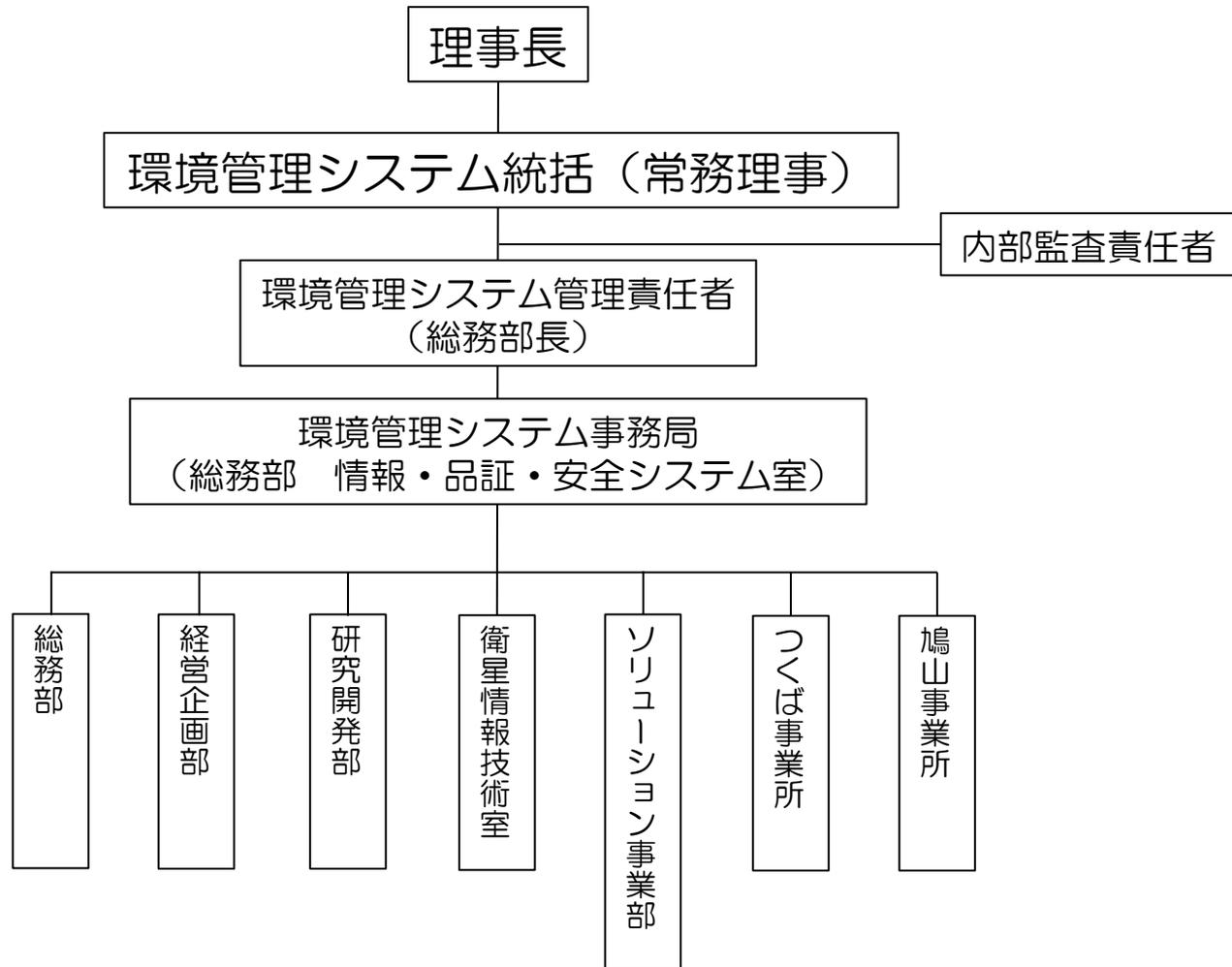
企業活動を行うにあたり環境に影響を及ぼす可能性や重大性を評価し影響度が一定レベル以上のものを環境側面と呼び、特に影響度の高いものを著しい環境側面としています。

主には環境に悪影響を与えるもの（マイナス側面）ですが、財団ではその特徴として衛星データを活用した環境への貢献活動（プラス側面）があり、以下の事項を著しい環境側面と位置づけ、活動に努めています。

- ✓ 電力の削減
- ✓ コピー用紙の削減
- ✓ グリーン法に基づく文具類の調達
- ✓ 廃棄物の適切な処置
- ✓ 地球観測データを利用した環境保全支援活動
- ✓ 災害発生時のデータ提供支援
- ✓ リモートセンシング技術の開発途上国等の技術者への研修

3.環境マネジメントシステム

【活動体制】



3.環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

平成28年度の環境目標及び結果を以下に示します。

環境目標	実績	結果
本社年間電力量 284,000kwh以内	265,138kwh	良好
つくば三井ビル年間電力量 37,000kwh以内	32,012kwh	良好
コピー用紙使用量 1,350,000枚以内	1,328,215枚	良好
人工衛星等を利用した地球の資源、現象に関する研究開発や普及啓発を通じて、環境問題の解決、環境負荷の低減などに貢献	次頁参照	良好

3.環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

環境に貢献したと思われる主な業務

分野	貢献内容
森林・自然環境保全	オマーン国において、中東諸国の省庁職員を対象に衛星/光学リモートセンシング等基礎研修や実習を実施
太平洋地域における気候変動	太平洋（フィジー諸島及びバヌアツ）で現地調査を行い浅海域の海底地形を測定し、巨大化する台風等における波の大きさや範囲を推測して浸水エリアを評価し、ハザードマップの作成に貢献
IPCC 第一作業部会 国内支援事務局	気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第一作業部会に関連する温暖化将来予測及び気候変化研究における、日本の研究機関及び研究者間の連携・協力を促進

3.環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

環境目標を達成するために、日ごろから取り組んでいる改善活動を以下に示します。

◆ 節電

- 室内空調について、職員の快適な作業環境を保ちつつ、こまめに室温管理を行う。（推奨室温設定：暖房時 22度±1度、冷房時 27度±1度）
- 昼食時における間引き消灯
- クールビズ、ウォームビズを推進
- 定時退社日（毎週水曜日）の設定

◆ コピー用紙削減

- プリントアウト標準の設定及び教育
- ペーパレスの推進
 - 各会議室にプロジェクターを配置
 - 会議スペースにPCモニタを設置

◆ 資源の有効活用

- ゴミ分別の徹底

◆ グリーン購入の推進

A high-resolution, grayscale aerial photograph of a city, likely London, showing a dense urban grid and a prominent river winding through the center. The image is used as a background for a promotional graphic.

Sense your Earth

RESTEC